

歩掛参考見積募集要項

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

平成30年6月20日

独立行政法人水資源機構

池田総合管理所長 木下 昌樹

1. 目的

この募集は、富郷ダム管理事業で予定している業務の積算の参考とするために歩掛参考見積を募るものです。

なお、この募集への応募が、業務等の指名のお約束となるものではありませんことを、あらかじめご承知おき下さい。

2. 歩掛参考見積の応募資格

- (1) 水資源機構における平成29・30年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成29年1月13日付28技契第526号）に基づき、指名停止を受けていないこととします。

3. 歩掛参考見積書の提出等

本募集に応募頂ける方は、次に従い歩掛参考見積書を提出してください。

- (1) 歩掛参考見積書は、作業項目毎（3. 参考見積依頼内容に明示する内容）に必要な歩掛（技術者の人数等）を記載して提出して下さい。

なお、歩掛参考見積書の様式は、別紙の内容が網羅されていれば、任意の様式でもかまいません。

- (2) 提出期間

平成30年6月21日（木）から平成30年7月10日（水）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日
午前10時から午後4時まで

- (3) 歩掛参考見積書の宛先および提出先

宛先：独立行政法人水資源機構 池田総合管理所 所長 木下 昌樹 宛

提出先：【担当】総務課 久次米

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

TEL 0883-72-2050 FAX 0883-72-0727

(4) 提出方法

参考見積書は持参、郵送又はFAX（社印があること）により提出するものとします。

4. 歩掛参考見積依頼内容

(1) 基本事項

本歩掛参考見積は、以下の(2)作業項目、作業内容に示す作業を実施するために必要な標準的な歩掛とします。

(2) 作業項目、作業内容

業務内容の詳細は、以下のとおりです。

i) 計画準備

①計画準備

業務目的、試験湛水以降の調査、解析、対策及び関係機関との協議結果などの情報を把握・整理し、本業務の実施計画を策定する。

②現地調査

抑止工設置箇所について現地踏査を行う。

ii) 打合せ協議

打合せは着手時1回、中間時2回及び完了時1回の計4回以上とする。

iii) 既存資料の整理・更新

以下の資料整理・更新を行う。

1) 既存の地質調査結果、動態観測結果の整理・更新

機構解析・安定解析の基礎資料となる変動総括図、変動ベクトル図、すべり面コンター図等を更新する。

2) 既存資料を踏まえた地質断面図の修正

既存のボーリングコアの状況を考慮した上で、最新の動態観測結果を踏まえて地質断面図及び破碎度区分断面図を修正する。

3) CIMモデルの更新

地すべり地のCIMモデルを更新し、すべり面、すべり面変動の影響を受けた領域、降雨時・貯水位変動時の地下水位の変化量とすべり面との位置関係を三次元的に把握する。

抑止工をより確実に配置するため、すべり面・「すべり面変動の影響を受けた領域」・地下水位・既往対策工及び新規対策工を三次元モデルで表現する。

iv) 機構解析

iii)の成果を踏まえ、ダム運用時に得られた貯水位・地下水位・変位データ等の観測結果、貯水位低下時・降雨時の地すべり滑動状況、および、地すべりの変動要因について、既往検討成果に基づきさらなる解析を行う。

v) 安定解析

A、B、C ブロックについて、実測データに基づき地すべりブロックの地下水位を見直し、その結果を反映して各ブロックの安定解析を実施する。

安定解析は二次元モデルと三次元モデルにおいて実施することとし、その具体は、以下の通りとする。

1) 二次元モデルでの安定解析

- ・すべり面強度の見直し
- ・地下水位の見直し(←これを一番上に移動)
- ・残留間隙水圧の残留率の見直し
- ・二次元安定解析

2) 三次元モデルでの安定解析

- ・三次元モデルの更新(すべり面形状の検討、地下水面の検討)
- ・三次元安定解析

vi) 対策工全体計画の作成

検討結果を踏まえ、瀬井野地区の対策工の既存全体計画を見直す。

ここで、当地区の安定化に要する必要抑止力は非常に大きいことから、抑制工及び抑止工を効果的・効率的に組み合わせた対策となるようにするものとする。

当地区では、降雨時の地下水上昇に伴う地すべり変動が認められることから、地下水排除工の効果を極力発揮可能な計画を立案するものとする。なお、地下水排除工の計画の具体は、本業務における iii iv v の検討結果を踏まえた既存の比較案の見直し作業となる。

また、実際の地下水位低下実績による地下水排除工の効果に基づいた安定解析を行うことで、抑止工の規模縮小が可能となる場合もある。このため、抑制工の施工と同時進行を想定したその効果判定に必要な観測項目・観測位置等について、計画立案を行うものとする。

vii) 抑止工詳細設計

A、Bブロックを対象として、抑止工の設計を行う。

1) 抑止工予定地調査

抑止工予定地周辺の地籍図等の確認を行い、用地買収、借地・立地条件・施工性を考慮し、予定地を決定する。

2) 抑止工構造検討

決定した予定地で施工・設置することが適切な抑止工を検討し、構造検討を行う。

3) 抑止工設計図作成

4) 数量計算書作成

5) 仮設計画

6) 抑止工及び仮設工の数量計算書作成

ix) 関係機関協議資料作成

検討結果について関係機関との協議を予定していることから、説明に用いる資料を作成する。(130 頁程度を想定している。)

x) 報告書作成

本業務の成果等全体をとりまとめ、報告書を作成する。

(3) 業務費の構成と歩掛見積範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、水資源機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(各編)」(以下「基準書」といいます。)によるものとします。
- ② 歩掛参考見積の募集範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施するために必要な技術者、資機材等の人数等を募集します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「平成 30 年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分」によるものとします。

5. 依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面(様式は自由)により提出してください。

- (1) 提出期限：平成 30 年 6 月 21 日(木)から平成 30 年 6 月 29 日(金)まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後4時まで

(2) 提出場所：2.(3)に同じ。

(3) 提出方法：2.(4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、平成30年7月3日(火)までにホームページにて回答します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒヤリング

提出していただいた参考見積書についてヒヤリングを実施することがあります。